

## 総務部

1. 方針
 

道へき・複連の目的に沿って、各地区へき地・複式教育研究団体の活動を促進し、関係団体との連携を密にする。また、調査活動の充実を図り、道へき・複連の組織強化と適正な運営に努め、本道へき地・複式教育の振興に寄与する。
2. 活動内容
  - (1) 各地区との連携（総会・評議委員会等）
  - (2) へき地教育に関する調査の実施（全へき基本調査等への協力）
  - (3) 道へき・複連独自の調査の実施
 

へき地・小規模・複式校及び地域の課題と対策に関わる調査
  - (4) 陳情、要請活動（全へき連、道教委、道研、地教委等）
  - (5) 関係機関との連携（全国、道内教育関係機関及び団体）
  - (6) 道へき・複連組織の検討（組織検討委員会の設置）
  - (7) その他各部に属さないこと
3. 具体的活動
  - (1) 全へき連関係
 

全へき連との関係を一層密にし、組織強化と研究推進に道へき・複連の要望を生かす。

へき地・複式教育の条件整備と待遇改善の取り組みをより強化し、本道の実態に即した振興策に反映するよう努める。

定数改善（専任教頭及び養護教諭、事務職員の全校配置）に向けて、陳情、要請活動を関係機関・団体に対して強力に行う。

全へき連調査関係への対応。
  - (2) 道へき・複連関係への対応
 

平成20年度へき地・複式教育振興施策に対する陳情、要望活動を関係機関・団体に対して強力に行う。

組織検討委員会を設け、全へき連負担金納入の適正化、道へき・複連の組織上の問題等について検討する。

関係機関・団体との連携を強めていく。

道教委・道小・道中・道研・道教育大・道教育大へき地教育センター・道P連等

未加入校のある地区の実態を考慮しながら加盟促進を図る。

地域の課題とその対策等に関わる調査を実施する。
  - (3) その他
 

事務局、各地区との連携を図り、事業の推進に努める。

国際交流、校外体験学習等の推進に努める。

## 研究部

1. 研究主題
 

「自ら創造的に学び 豊かな心でたくましく 郷土を拓く子供の育成」

～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かし、一人一人の児童生徒に「新たな時代を生き抜くための力」を育む学校・学級経営と学習指導の充実を目指して～
2. 活動の重点及び具体的活動内容
 

道へき・複連の第7次長期5か年研究推進計画の最終年次としてこれまでの研究の成果と課題を整理し、第8次長期5か年研究推進計画につなげる。

  - (1) 共同研究体制の強化と実践研究の充実
 

研究推進委員長を中心とする組織体制の確立

研究推進委員会、企画委員会の効果的運営

各地区へき・複連研究活動への協力

小規模中学校に対する共同研究参加呼びかけ
  - (2) 全道へき地複式教育研究大会の効果的な開催
 

全道へき地複式教育研究大会檜山大会の開催

ア 関係機関・団体との連携

イ 準備・運営等に関する協力と援助  
(共同研究者)

ウ 平成20年9月25日(木)・26日(金)

全道へき地複式教育研究大会網走ブレ大会の開催

ア 準備・運営等に関する協力と援助  
(共同研究者)

イ 平成20年10月～11月
  - (3) 第7次長期5か年研究推進計画の整理と記録
 

第24回北海道へき地複式教育実践研究発表大会の効果的な開催

・平成20年10月21日(火)

地区へき・複連教育実践研究資料の蓄積と還流
  - (4) 第8次長期5か年研究推進計画の提示と周知
 

第8次長計の各地区・各学校への配布  
(CD化)

道研・へき研センター等との連携
  - (5) 研究資料の編集と発行
 

第7次長計「実践のまとめ」の編纂  
(CD化)

道へき・複連「研究部情報」の発行  
(年2回)

道へき・複連研究主題一覧表の作成  
(CD配布)

全国へき地教育研究連盟発刊図書への協力
  - (6) 教育関係各機関・団体との連携
 

北海道教育委員会・各教育局との連携強化

北海道立教育研究所、各地区教育研究所、北海道教育大学へき地教育研究センターとの連携

全国へき地教育研究連盟との連携

ア 全へき連 図書編纂委員会

イ 全国へき地教育研究推進協議会

ウ 全国へき地教育研究大会への参加